

農業情報総合研究所／新規就農向けレポート「彩園なかや」（前橋市樋越町） 「ネギを選んで新規就農 ～計画的・合理的な生産を進める～」

サマリー：

「彩園なかや」の中屋智博さん（前橋市樋越町）からYouTube「農ラジ！」のインタビューとネギ畑の見学を通して、新規就農のお役に立ちそうな情報をいただきました。新規就農にあたっての作物選び、役所との相談、また、事業計画の大切さについてです。また、就農後、作物として選んだネギの売上向上のためにソフトウェアを開発して、計画的・合理的に生産を進めようとしています。

1. YouTube「農ラジ！」のインタビュー

中屋さんは東京農大卒業後、農業生産法人に就職、退職までの8年間にいろいろな圃場の立上げを行いました。失敗を積み重ねて、成長につなげてきました。退職後、前橋市樋越で就農しました。農地は妻の実家の所有です。就農にあたり、市役所の農政課などに出向き、農地のこと、融資のことなどの相談を繰り返しました。



農ラジ! 第167回: 群馬県で新規就農! 新規就農までの準備について。

生産のメインはネギです。農業生産法人時代の経験を活かしています。ネギを選んだのは、市場の売値が安定しているからです。ネギを知らない人はいません。市場が広く、大きいです。たくさん作っても、余ることはないです。

事業計画に力を入れました。お金の地図を作成することが大切です。農業は、種を蒔き、または苗を植えてから、収穫し、さらにお金になるまでに時間がかかります。ネギであれば、10 か月です。いつお金が入るかがわからないと、いつ肥料を買うことができるかがわかりません。お金の流れを把握することで、生産・資材購入などの流れも把握することができます。

認定新規就農者となっています。この認定をとることで、就農準備資金・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）をいただけます。また、日本政策金融公庫から融資をいただくこともできました。

YouTube「農ラジ！」のインタビューはこちらから：https://youtu.be/UVPm_Msazv0

2. インタビュー後、2022年5月、中屋さんのネギ畑を見学

上毛電気鉄道の樋越駅を降りて、すぐのところ
に中屋さんのネギ畑（20a）があります。このほか
にも、畑があり、全部で2haほどになります。ネ
ギの生産に適した水はけの良い土です。こちらの
ネギ畑に隣接してハウスがあり、苗を生育中でし
た。この苗は6月中旬に植える予定です。生産さ
れたネギのほとんどすべてを市場出荷していま
す。



中屋さんはネギの周年生産をされていることか
ら、数学や植物生理学の専門家、プログラマーと
ともに1年後の収穫期から逆算してネギを植える
時期を算定するソフトウェアの開発を進めていま
す。ネギの売上げを向上させることが目的です。
ネギ生育のための積算温度を設定、生育日数を割
り出します。気象観測器のデータを活用していま
す。このソフトウェアにより、コストの計算とネ
ギの苗を植える数量、リスク対応の計画を立てら
れます。リスクとしては、強い雨（ネギが倒れます）、強い風、雪などによる歩留まりです。
これらのリスクも過去の気象データから割り出します。



50、60代の農家は農業機械などハードウェアによる効率化を行っています。効率化によ
って起こされたイノベーションを礎に、中屋さんらはソフトウェアにより合理化していく
ことで新たなイノベーションを生み出すことを目指しています。

以上